

# 特別養護老人ホーム真寿園 入居申込書

申込日 平成 年 月 日 新規・更新

特別養護老人ホーム真寿園  
施設長様

特別養護老人ホーム真寿園に入居を希望し、  
偽りなく申告の上、申し込みます。

お 申 込 者	住所	〒	
	ふりがな 氏名		本人との関係
	電話番号	(日中連絡可能な電話)	

ご 本 人 の 状 況 等	ふりがな 氏名			介護保険者	(区・市・町・村)	
				被保険者番号		
	生年月日	大正・昭和 年 月 日 ( 歳) 男性・女性	要介護度	1・2・3・4・5		
	住所	〒		要介護認定 有効期間	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで	
	家族構成	本人を含めた同居家族 ( ) 人 ( a. 一人暮らし b. 夫婦世帯 c. 2世代同居 d. 3世代以上の同居 ) 本人を含め、65歳以上の同居家族の人数 ( ) 人				
	認知症等による 不適応行動の有無	1. 非常に多い 2. やや多い 3. 少しあり 4. なし (1~3の判断基準については、「入居申込書の書き方①」を参照して下さい)				
	現在利用している 在宅サービスの状況	1. 通所介護 2. 通所リハビリ 3. 訪問介護 4. 訪問看護 5. 訪問リハビリ 6. 訪問入浴介護 7. 短期入居生活介護 8. 短期入居療養介護 9. 福祉用具貸与・購入費の支給 10. その他				
	最近3か月の在宅 サービス利用割合	限度基準 単位の	%	この数値の計算方法については、「入居申込書の書き方②」 を参照して下さい。		
	医療的処置の状況	【主な既往や治療中の病気等】				
	入居を希望する理由  該当するものすべてに ○印をつけて下さい。  本人の入居希望理由と して、「主に介護さ れている方」の介護状 況をご記入下さい。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護者がいないため(本人は単身生活者で親族が全くいない) 具体的な状況；</li> <li>2. 介護者はいるが「高齢」であり十分な介護が困難なため (介護者の年齢が・・・ a. 70歳以上 b. 60歳代 c. 60歳未満)</li> <li>3. 介護者はいるが「介護者自身が障害や疾病の状況」にあり十分な介護が困難なため (a. 介護が困難である b. 多少なら可能である c. 介護はできる) 具体的な状況；</li> <li>4. 介護者はいるが「育児」または「入居対象者以外の家族の看病」があり介護が困難なため (a. 常時の育児又は看病が必要である) (b. 半日ほどの育児又は看病が必要である) (c. 時々、育児又は看病が必要である) 具体的な状況；</li> <li>5. 介護者が「複数の介護」をしているため (a. 介護が困難である b. 多少なら可能である c. 介護はできる) 具体的な状況；</li> <li>6. 介護者はいるが「就業」しており十分な介護が困難なため 具体的な状況；</li> <li>7. 自由記載欄</li> </ol>				
在宅で介護された期間	・1年未満 ・1年以上 ・2年以上 ・3年以上					
現在いらっしゃる場所 (例：〇〇市〇〇病院)	1. 自宅 2. その他					

介 護 者 の 状 況	主たる介護者 有・無	「有」の場合 氏名		性別	本人との関係
		生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日 ( 歳)	男女	
		同居・別居 の区分	1. 同居 2. 別居 (状況: )		
		介護者の 就労状況	a. 1日8時間以上 (常勤) b. 4時間以上8時間未満 (パート) c. 4時間未満 (パート) d. 高齢のため就労不能 e. 就労していない		
の 状 況	従たる介護者 有・無	「有」の場合 氏名		性別	本人との関係
		同居・別居 の区分	1. 同居 2. 別居 (状況: )	男女	
		介護の可能性	1. 介護は困難である 2. 多少介護は可能である 3. 介護は可能である		
上 記 以 外 の 別 居 血 縁 者 (子・兄弟・その他親族)	有・無	「有」の場合 氏名		性別	本人との関係
		介護の可能性	1. 介護は困難である 2. 多少介護は可能である 3. 介護は可能である	男女	
そ の 他	入居を希望する 時期	1. 今すぐ入居したい 2. 年 月頃までには入居したい			
	申込の状況	1. 当施設のみ申し込む 2. 他の施設に申し込んでいる 所在地: (区・市・町・) 施設名:			
	担当の介護支援 専門員	・その方の所属事業所名	電話番号		
	氏名				

「心身の状況等で困っていること」「入居を希望する特段の事情」等

説 明 確 認	私は、この度「入居の必要性を評価する基準」「入居申込の注意事項」「入居決定の手続き」などについて、施設から説明を受けました。
	平成 年 月 日 氏名 印

#### 【入居申込書の書き方】

- ① 「認知症等による不適応行動」の基準は、介護保険認定調査票の第4群(4-1~4-15)の内、「ある」が3項目以上ある場合は「非常に多い」と判定します。「ある」と「ときどきある」を合わせて2項目ある場合は「やや多い」と判定します。「ある」または「ときどきある」が1項目ある場合は「少しあり」と判定します。
- ② 「最近3カ月の在宅サービスの利用割合の状況」は、最近3カ月間に利用した単位合計(A)を最近3カ月分の限度基準単位の合計(B)で除し、100を掛け、小数点以下を切り捨てて出して下さい。  $(A \div B \times 100)$   
今どこかに入院・入居している場合は、入院・入居する前の3カ月分で計算して下さい。

#### 【添付資料】

- ① 認定調査票(写)
  - ② 介護保険被保険者証(写)
  - ③ 最近3カ月のサービス利用票(写)
- (①の認定調査票は市区町村の介護保険担当課に申請して下さい)

#### 【入居申込の注意事項】

- ※ 平成27年4月より、基本的には要介護3~要介護5の方が入居対象となりました。要介護1および要介護2の方は、特殊な事情(特例入所要件に該当)の場合を除いて、入居対象要件を満たしていないため、入居することはできません。
- ※ 記入の仕方が難しかったり、わからない場合は、電話またはご来園時にご相談下さい。
- ※ 申込書に記載された内容と添付資料を照らし合わせ、明らかな記載の間違い、計算の間違い、選択基準の誤認などがあった場合は、申請書の内容を訂正することがあります。無記入項目で推測困難な場合は選択肢の中で最低配点とします。
- ※ 申込内容に変更が生じた場合は、再度、申込書に添付資料一式を添えて更新申請を行ってください。  
(本人の要介護度や心身の状況、介護者の状況等が変わった場合、優先順位の見直しを行います)
- ※ 入居検討に向けての情報収集を目的に、関係機関等にご本人に関する情報提供を依頼することがあります。
- ※ 申込書提出後に何らかの事情で入居の意向がなくなった場合は、別紙「特別養護老人ホーム真寿園入居申込取り下げ書」を提出して下さい。